



### 9月・芸術の秋、そして避難訓練!

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。児童デイでは、9月最初の1週間の活動をのんびり工作にし、「秋」をテーマにぶどうを絵に描いたり、立体的な作品をつくりました。



同じテーマでも、創造力が炸裂しており本当に個性豊かな作品ばかりです。こちらの予想をはるかに超える作品に、いつも脱帽です!!

そして、9月下旬は毎年この時期に行っています避難訓練です。まごころでは事前に一連の流れを説明し、避難の練習をします。今年は天候不良の場合を想定し、中高生デイは倉庫、児童デイはハイエースの中へ避難しました。



それぞれが混乱することなく、素早く避難することが出来ました。天災はいつおこるか分かりません。日頃より「もし今地震がきたら、」と、想定した心構えが必要だと、訓練を通して実感しました。これからも、季節に応じた活動・命を守る訓練をつづけていきたいと思っています。

## デイサービス通信

### デイサービスまごころのお誕生日

1年前、9月3日に開始したデイサービスは、お二人の利用者さんからのスタートでした。

現在も月・水・金の3回だけの開所ですが、それぞれ10名定員中、どの曜日も8名の利用でお集まりいただいています。

9月はじめの週は、デイサービスまごころの誕生会を行いました。テーブルには花とローソクでコーディネートし、朝から利用者さんは「今日は誰の誕生会?」と尋ねてみえました。おやつには、ホールのケーキを手作りして、皆で祝いました。

「ここへ来ると、ホットする・・・」とSさん。デイサービスが家庭と同じく、くつろげる場所でありたいと思っています。

デイサービスで機能回復を心がけている人、手作りの美味しい食事を味わいたい人、気持ちの合う方とおしゃべりしたい人、いろんな趣味を楽しみたい人・・・ひとりひとりの気持ちを大事にしたデイサービスを心がけたいと思います。



人生いろいろの書画  
利用者さんに季節を  
いろいろしてもらいました

## 心っれづれ



### 承認の必要性

毎年夏休みには、墓参りを兼ねて帰郷しています。どうしてもこの時期は、原爆、靖国問題等々のニュースが賑わい、また地元では祖先の供養のお祭りごとが行われています。

この時季、特に日本人と他国と比べ日本人の宗教に対する意識の曖昧さを常に感じます。考えてみると、売春の是非、脳死の是非、遺伝子治療の是非、原子力発電の是非、戦争の是非など全て社会の不透明さがましてきていることは皆さんもご承知と思います。何が国益になるのか、会社益なのか、家族益なのか、個人益なのかが不透明になっております。

「頑張れば自分も家族も地域も社会も国も豊かになれる」といった幸福の一致図式は既に崩壊し、成人式において「社会のために役立つ人になれ」と言われても、全くの他人事になってしまっています。人生の意味を追究するより、現在の濃密な時を追究することに重点を置かれています。成人式を迎え、成長・上昇(努力)・勝利といった抽象的にはだれもが指示する将来への行為に意味づけする講話は逆に反感をもたれ、若者の暴走を促しているのかもしれない。

会社組織においても、いかに個人の達成感を与えるかが今後の課題となると思われます。いままでのような大きな「成し遂げた」といった達成感は不要です。毎日の日々の中で「承認」していくことがポイントとなります。毎日の仕事の中に自分の承認を見出せない製造業や経理関係部門の人はなく、毎日の中に、幾つもの承認が存在する接客業等のサービス業に優秀な若者が流れていきます。我が家の息子たちも、社労士業には全く見向きもせず「親父が脱サラして何かやっている」といった関係です。

社会保険労務士 中谷一郎

## ヘルパーだより

### NO.17

Aさん68歳、全盲・ろうあ者、妻のB子さん61歳、聴覚に障がいを持っています。

お二人とも、要支援2の介護を受けてみえます。

まごころのヘルパーは、お二人の生活をささえるべく、月から土曜の毎夕、夕食作りのケアに入っています。B子さんは、インスタントや簡単な食事なら作れますが、本人の糖尿病もあり、健康を考えた夕食作りが欠かせません。

4人のヘルパーが週6日を日替わりで入っていて、それぞれ得意の料理をAさんは知っておられます。

天ぷらの上手なヘルパー、丼ものが得意なヘルパー、ちらし寿司がおいしいヘルパー・・・今日はどのヘルパーが入るのかを事前に知って、メニューをリクエストしてください。

調理が出来上がると毎回、ヘルパーはAさんの手のひらにカタカナでメニューの名前を書いて説明します。「オー!」と言うAさんの声の反応で理解されたことが分かり、食事を摂っていただきます。毎回、夕食が出来上がるのを待って、すぐにAさんは食べられます。

Aさんは家のことはすべて知りつくしてみえ、毎日庭の草取りに励んだり、部屋の掃除や食器洗い等、進んでやっておられます。

どのヘルパーも手話が完璧にはできないので、B子さんと筆談で対応して、意思の疎通を図っています。

障がいを持ちながらも、元気に自宅で生活できるよう、ささやかながら支援していきたいと思っています。



利用者からのことば・・・  
いつもおいしい料理を作ってください、ありがとうございます。